

在宅取組型(幼保園)

学校名等	大垣市立荒崎幼保園
実施日時	令和3年7月20日(火)～8月31日(火)
会場	各家庭
参加人数	全園児(143名)とその保護者
学習課題(分野)	親子で作ろう「オリジナルマスクケース」作り(命の大切さ)
運営者の願い	コロナ禍の毎日で欠かせないマスクの使用。【マスクの管理の仕方】、【なぜ今マスクが必要なのか】を家族で考え、マスクの一時保管場所として利用し、替えのマスクを持ち歩くことが楽しくなるようなマスクケースを作ってほしい。

学習の内容

<取組内容>

- ・ 7月20日に保護者に案内文と、材料の配布をする。
- ・ 作成期間は幼稚園部の夏休み期間に合わせて、
- ・ 余裕をもって作成してもらえるようにする。
- ・ YouTubeの動画を作成し、外国籍の保護者にもわかりやすいように工夫する。

QRコードをつけ、YouTubeで作成の説明動画を視聴できるようにした



【作成手順案内】

- ・ 親子で「なぜマスクが必要か？」を話し合いながら作る。
- ・ シールを貼ったり絵を描いたりして、使うことが楽しくなるようなケースを作る。
- ・ 作成後に感想と作品を提出してもらい、各クラス前に作品を掲示し、みんなに見てもらえるようにする。



【作成したマスクの展示】

<保護者の感想>

- ・ 積極的にシール貼りを手伝ってくれました。「マスク入れるの、保育園に持って行くの!」と、とても嬉しそうにしていました。マスクは必需品なので、ケースに入れて持ち歩くように子どもと話し合いました。
- ・ 動画付きでとても分かりやすかったです。楽しくできました。
- ・ 小さな手で一生懸命シールを貼ってくれました。入れたいマスクに合わせて少し大きさを変えました。パパにプレゼントしたいと思います。



全員が参加しやすい動画配信

園には外国籍の保護者が2割を占めています。そこで役員がYouTubeを作成し、外国籍の保護者や、紙面の手順では分かりにくい方が活用しやすいよう配慮しました。完成したものを掲示することによって、楽しく活動できたかどうかを確認することもできました。



マスクを使うことが楽しくなるような取組

毎日使うものだからこそ、楽しい気持ちで使えるよう、活動内容を考えました。また、マスクをすることの必要性や自分の命を守ることの大切さを、子どもと再確認することができました。

